

避難とは文字通り「難」を「避」けることです。事前に安全な場所にお住まいの親戚などの家に避難したり、外がすでに危険な状態となっている場合は、自宅の二階に垂直避難したりするなど、避難所へ行くことだけが避難ではありません。自分や家族の状況、雨の状況、時間などにあわせて最適な方法で避難しましょう。

町が発令する避難情報には警戒レベルがあります。避難に時間を要する人は警戒レベル3で避難を開始しましょう。警戒レベル4の避難指示は危険な場所から全員避難となります。

## 避難のタイミング



橋本 広幸

- ・粕屋南部消防組合消防本部 元消防長
- ・平成29年4月から宇美町役場で勤務
- ・[わが家の防災ハンドブック]作成に携わる
- ・令和5年に内閣府認定の地域防災マネージャー資格を取得

# 公助 地域防災 マネージャー 橋本さんに 聞く!

警戒レベル	新たな避難情報等
5	<p>災害発生 又は切迫</p> <p>緊急安全確保</p>
4	<p>災害のおそれ高い</p> <p>避難指示</p>
3	<p>災害のおそれあり</p> <p>高齢者等避難</p>
2	<p>気象状況悪化</p> <p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
1	<p>今後気象状況悪化のおそれ</p> <p>早期注意情報 (気象庁)</p>

～〈警戒レベル4までに必ず避難!〉～

**避難所について**

町の避難所開設状況は、防災行政無線、町HP、公式LINE、テレビのdデータボタンなどで発信しています。体調がすぐれない人やペット同伴での避難を希望される人は地域コミュニティ課までご連絡ください。

### 避難所持ち出しリスト

風水害発生時の避難は、長期滞在を想定していないため、何を持っていくか判断するのは難しいところです。

食料や飲料水、常備薬など必要なものを事前に準備して慌てずに行動できるようにしておきましょう。

#### 持ち出しリスト(二例)

- 救急・安全**
- 常備薬
  - 眼鏡など
- 水・飲料**
- 飲料水
  - 食料、お菓子など(2〜3食)
- 貴重品**
- 預金通帳、印鑑
  - 免許証、保険証
- 日用品**
- タオル
  - マスク
  - ビニール袋
  - ウェットティッシュ
  - 紙おむつ・生理用品
- その他**
- 着替え
  - モバイルバッテリー

## 防災情報発信中!!

町では、防災情報を町公式ホームページをはじめ、多くのコンテンツで発信しています。事前にお友達登録などを行い、災害時の情報収集にご活用ください。

問 地域コミュニティ課 危機管理係  
☎933-5500 FAX934-2275



町ホームページ



防災ハンドブック



ハザードマップ



町公式LINE



地域コミュニティ課公式X



ふくおか防災ナビまもるくん

### 原田小学校区コミュニティ

防災部会と各自治会長で、「避難所運営初動訓練」を行いました。災害が発生した際に、すぐに町が避難所を開設することが難しい時に、自分たちで避難所を開設し初期の準備・受け入れなどを行う訓練です。また、イベントに合わせて防災グッズの展示を行い、来場者に家庭で揃える備蓄品の紹介を行いました。



### 宇美小学校区コミュニティ

毎年実施している避難訓練に合わせて各自治会で水消火器訓練や備蓄品の紹介などを実施しました。

また、校区内の2か所に防災倉庫を設置し、リヤカーや発電機など防災資機材の整備を年次的に進めています。



### 宇美東小学校区コミュニティ

宇美東小学校で防災イベントを実施しました。イベントを通して、来場者に防災について考えてもらうきっかけとなりました。

また、災害時に障子岳自治会において、高齢者に対し声かけを行い、早めの避難が必要な人には避難するよう自治会で誘導を行っています。



## 共助 各コミュニティの防災

過去の災害において、被害にあい、身動きが取れなくなった人を最も助けたのは、地域の人々でした。消防、自衛隊なども救出活動にあたりますが、災害によって救助車両が通れなくなっていたり、救助対象者が多く手が回らなかったりするケースが多く、近所の人々が救助することが多くなっています。災害を想定し、まずは自分の身を守り、次に、近所の人と協力して、地域を守る。その積み重ねが、地域の防災力強化につながります。

### 井野小学校区コミュニティ

ラブアースに合わせて避難訓練を実施し、各避難場所までの避難経路の確認と避難先での点呼、災害対策本部への連絡網の確認などを実施しました。

また、令和5年度に自主防災連絡協議会を立ち上げ、災害時の初動対応や備蓄品の準備、防災訓練の計画などを行っています。



### 桜原小学校区コミュニティ

講師を呼んで、HUG訓練(Hinanjo Unei Game=避難所運営ゲーム)を体験し、実際に避難所の運営に自分自身が携わった場合、どういった課題や対応を行う必要があるのかみんなで考えながら訓練を行いました。

